

## 1. 会合回数等

- 2006年度 2007.1 に準備会、J-SRI 研究会と命名
- 2007年度 研究会開催回数不明、2007.7.2 にアポフ教授講演会
- 2008年度 研究会6回、うち1回は「国際SRIネットワーク会合」
- 2009年度 研究会4回(？)、うち1回は柏開催で圃場見学
- 2010年度 研究会6回
- 2011年度 研究会5回
- 2012年度 研究会6回、および日本熱帯農業学会第191回研究集会を共催
- 2013年度 研究会5回
- 2014年度 研究会5回(本日まで)

## 2. 研究会での発表トピック・・・J-SRI 研究会 HP より作成

### (1) 海外巡検等(計画も含む)

- インドネシア 2008(1)、2008(3)
- フィリピン 2010(3)
- ケニヤ 2010(4)、2012(2)
- ラオス 2009(1)、2010(4)、2011(2)、2012(4)、2013(4)、2014(1)、2014(2)
- カンボジア 2014(2)
- タイ 2010(5)
- インド・オリッサ州 2010(5)
- 台湾 2011(3)、2011(4)、2014(4)
- ベトナム 2011(3)、2014(4)
- ドミニカ共和国 2012(3)

### (2) 海外における実験・調査等

- インドネシア 2008(1)、2012(6)
- インドネシア・チアミス県ラクボック郡 2008(6)
- インドネシア・タシクマラヤ 2011(2)
- インドネシア・西ジャワ 2009(5)、2013(4)、2013(5)
- インドネシア・中部ジャワ 2014(1)、2014(3)
- インドネシア・ロンボク 2009(5)
- ベトナム・ハノイ近郊 2010(4)、2011(1)、2012(3)、2012(6)
- カンボジア・天水田 2009(2)、2011(4)、2012(3)、2014(3)
- カンボジア・タケオ州 2012(3)、2014(1)
- マダガスカル 2011(4)、2014(3)

### (3) 国内における実験等

- 小川さん水田 2009(2)、2009(4)、2009(5)
- 森さん水田 2011(1)、2011(4)、2012(5)

矢内さん水田 2011(2)  
小関さん水田 2012(2)、2012(6)、2013(2)、2013(3)、2013(4)、2013(5)、2014(4)  
千葉県神崎町：不耕起栽培研究会 2009(4)、2011(3)  
神奈川の圃場：不耕起栽培研究会 2012(5)  
あさひ農醸（朝日村） 2013(2)、2013(3)、2013(4)、2014(1)  
小学校屋上等 2010(1)、2010(2)、2013(5)  
バケツ実験 2011(2)、2012(5)、2013(2)  
農工大圃場 2009(4)  
JIRCAS 圃場 2013(2)  
明治大学ライシメータ 2010(2)、2010(5)、2011(1)、2011(4)?、2012(6)、2013(2)  
2013(5)  
東大柏ライシメータ 2010(3)、2013(4)、2014(4)  
柏実験圃場A 2009(3)、2009(5)  
柏実験圃場B 2011(1)

(4) 国際会議等

Rice Congress 2010(4)、2014(4)  
ラオスでのセミナー 2013(4)  
マダガスカル研究会 2014(1)  
PAWEES 2009(4)、2014(4)  
アポフ教授講演会 2007.7.2  
日本熱帯農業学会 2012.7.21  
WB の取り組み 2010(1)

(5) 基礎研究等

根 2008(5)  
SRI の日本語訳 2009(4)  
栽培マニュアル 2010(4)、2010(5)、2013(5)  
調査統一化 2011(4)  
一般学生の疑問 2012(3)  
疎植栽培 2012(3)  
栄養周期説 2013(3)  
「稲作革命 SRI」の刊行 2011.9.22

(6) ゲスト報告

ベトナム 伊能 2009(1)、大槻 2010(2)、ミン 2012(3)  
インドネシア 貴島 2010(2)、イスワンディ 2012(4)  
カンボジア Horng 2011(2)、ミン 2012(3)  
マダガスカル 榎木 2013(3)  
インドネシア+ケニア 伊藤 2013(3)  
ルワンダ 栗田 2013(4)

### 3. 研究会のまとめについて(佐藤)

山路様、皆様 2015/01/09 7:34 発信

これまで J-SRI 研究会の報告会は 2 ヶ月に 1 度のペースで切れ目無く継続してきていますが、出席者以外は口頭発表の内容の詳細を知る機会がありませんでした。

そこで、今年から、情報発信強化のため、報告内容の記録を所定のフォームで作成し、それを会員全員に送付してはどうかと考えます。このフォームのみホームページに掲載するとより良いと思います。また、添付のフォーム案の下に記載したとおり、内容に関心がある方は事務局に PDF を請求する形にすれば、会員の研究会への関心も高まることと思います。

この報告フォームの記載は私(佐藤)が担当し、山路代表、溝口事務局長のコメントを受けた上で、事務局の文責ということで最終化するのが良いと考えます。

本日(9日)の研究会にて本件を提案し議論したいと思いますが、研究会に出席できない幹事。監事の方も、本件に関するご意見をお寄せ頂けると大変幸いです。

### 4. 今後の活動について

- ・ 定例研究会の開催
  - ・ 定例研究会の結果の発信
  - ・ 過去の定例研究会の結果の整理
- ・ SRI 研究の推進(国内外)
- ・ SRI に関心のある農家との連携(技術、測定)
- ・ 現地見学

### 5. 今年の活動(案)

- ・ 定例研究会  
開催日の決定、発表予定を入れておく  
2015.1 定例研究会 2014(5)  
2015.3 定例研究会 2014(6)  
2015.5 定例研究会 2015(1)・現地見学  
2015.7 定例研究会 2015(2)  
2015.9 定例研究会 2015(3)  
2015.11 定例研究会 2015(4)
- ・ 農家との連携  
矢内さん、小関さん、宮川さん？
- ・ 学会でのアピール  
JSIDRE 2015.9.1-3 岡山、要旨締切 2015.3.31 ?  
PAWEES 2015.10 、Abstract 締切 2015.  
GRENE-ei 2015.3.10-12 Hanoi, Viet Nam  
ICERD 2015.3.7-8 Bohol, Phillipines

J-SRI 研究会 2014 年度第 4 回研究会

日時：2014 年 11 月 10 日（月） 18:00-20:40

会場：東京大学 農学部 7 号館 A 棟 7 階 717 セミナー室

出席：19 名

内容：

1. 岩手県金ヶ崎町での SRI – H26 年度の報告 – …… スライド配付  
佐藤敬佳（岩手大学、4 年）、武藤由子（岩手大学）、溝口勝、小関新喜  
間断灌漑圃場 vs. 対照圃場、いずれも 2.9 a、ひとめぼれ  
調査は、稲の生育、気象、土壌、田面水・土壌水  
5/19 移植、10/8 稲刈り  
節間の長さとの倒伏の有無とに關係あり
2. Effect of AWDI Practices on Methane Gas Emission in Small Scale Lysimeter  
Experiment (2013) …… スライド配付  
ブン・イシュワル（東京大学、博士 2 年）  
連続灌漑 vs. 間断灌漑、いずれも 5.0 m × 0.8 m
3. International Rice Congress 報告、とくに SRI 分科会について  
横山繁樹 (JIRCAS)  
IRC の概略紹介：SRI は oral 7 本(4.8%)、poster 31 本(4.6%)  
Erika 報告の紹介：1993-2013 の 624 論文をレビュー
4. PAWEES2014、とくに SRI 発表に関して  
溝口勝（東京大学）  
1 つのセッションおよび数枚のポスターがあった。  
多くのセッションが同時並行で、聞きにくかった。
5. 台湾の SRI 研究について  
山路永司（東京大学）  
大手健康機材会社がスポンサーになってくれた。  
農田水利会（≒土地改良区）が関心を示している。  
台日稲作強化体系検討会が 2014-10-31 に開催された。
6. ハイフォン市グリーン農業（グリーン成長推進計画より抜粋） …… スライド配付  
福壽真也（日建設計シビル）  
有機肥料減農薬農業によるブランド化
7. J-SRI 研究会の今後について  
19 名の参加者それぞれが、主に SRI に関して自己紹介および近況紹介。

以上

# J-SRI 研究会の報告

2015 年 1 月 15 日

会議名	2014 年度第5回 J-SRI 研究会(定例)
開催日時	2015 年 1 月 9 日(金) 18:00-20:00
開催場所	東京大学農学部 7 号館 A 棟 7 階 717 セミナー室 (最寄り駅:地下鉄南北線「東大前」)
出席者	名
プログラム	口頭発表 1: 鳥山和伸(JIRCAS)「インドネシアの SRI 農家における水管理の特徴と水稻生育収量」 口頭発表 2: 鈴木善博(有機農業農家、元農林水産省)「SRI 驚きの一年」 口頭発表 3: 小田正人(JIRCAS)「ブラジルにおける植物と菌類の共進化応用農業」 意見交換: J-SRI 研究会の活動計画 その他:
内容	口頭発表 1: 鳥山和伸「インドネシアの SRI 農家における水管理の特徴と水稻生育収量」  口頭発表 2: 鈴木善博「SRI 驚きの一年」  口頭発表 3: 小田正人「ブラジルにおける植物と菌類の共進化応用農業」  意見交換: J-SRI 研究会の活動計画  その他: ● 次回の研究会は 月 日( )とする。 ● 報告会の後、懇親会(参加者 名)

(文責: J-SRI 研究会事務局)

(事務局よりお知らせ)

口頭発表の内容に興味がある方は、J-SRI 研究会事務局に E メールにて関連資料を請求してください。

PDF を E メール添付でお送りします。事務局の E メールアドレスは <[j-sri-hq@iaiga.a.u-tokyo.ac.jp](mailto:j-sri-hq@iaiga.a.u-tokyo.ac.jp)> です。

(ウェブアップとどちらが省力的か?)